



Vol.17

「およたま通信」名前の由来

大曲出張所が管理している4つの河川、雄物川、横手川、玉川、丸子川の頭文字をそれぞれとって名付けました。

サケの稚魚を放流しました

平成24年3月12日(月)、肌寒く川の水が冷たい中、大仙市立花館小学校6年生62名が玉川橋下流右岸において、サケの稚魚放流を行いました。

この事業は平成21年度から、花館地区コミュニティー会議が企画し、環境保護や命の大切さを知ってもらうことを目的に毎年行われています。

昨年11月に捕獲したサケの卵のうち、花館小学校6年生の手により飼育観察した体長約5cmの稚魚を含めて約3万匹を玉川に放流しました。

放流したサケの稚魚は3~4年後に玉川に戻ってくるといわれております。自分たちで大切に育てたサケなので、「より一層元気に戻ってきて欲しい」と願いを込めて放流していました。



サケの稚魚を放流している様子



6年生による言葉を述べている様子

雄物川で「川を渡る梵天」が行われました

平成24年2月11日(土)、大仙市花館の雄物川河川敷で小正月行事「川を渡るぼんでん」が行われました。

この行事は、江戸時代後期に五穀豊穡と若者に活気を取り戻させるために発祥したといわれており、毎年2月11日に行われています。

当日は、男衆が色とりどりのぼんでんを担いで雄物川を渡って対岸の伊豆山神社へ登りぼんでんを奉納しました。

